「日々の理科」(第2464号) 2021,-4,10 水彩画教室 「盛岡の春 〜岩手山と北上川〜」 お茶の水女子大学附属小学校教諭 お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員 田中 千尋 Chibiro Tanaka

春の盛岡といえば 私はすぐにこの風景を思い出します 遠くに岩手山 そしてゆったりと流れる北上川の構図です 似たような風景は東北新幹線の車窓からも見えるのですが やはり市内の北上川のそばから見た風景が 一番盛岡らしいように思います 盛岡はこれから桜の時期を迎えるそうです



これが完成した絵です



1、下絵は 岩手山を中心に 中央の橋を基準に描きます 左右のマンションや湖畔の木々も できるだけ丁寧に描いておきましょう



4、左側から光が当たっていると意識して なるべく右側に影がつくように描いていきます その後少しずつ色を重ねていきます



2、空と川面から塗っていきます 空よりも水面のほうをやや濃く塗っておくほうが良い 5、主題の一つの岩手山は 山頂の雪は塗り残し 山肌は立体感を出すように心がけでしょう



3、岩手山や周囲の建物や樹木も 最初は「感じた色」を薄く塗っておきます 最初から濃い色にならないように



6、水面の反映は重要です 橋脚・マンション・樹木 それに岩手山の雪の反映は 白のパステルを使いました